

験補助、データ整理等の臨時雇用者とします。所属機関から給与などが支給される場合は助成の対象外とします。

- ・既に入会している学会等の年会費や購読している会誌等は助成対象外とします。申請の研究の為の学会入会費や会誌等購入は認めます。
- ・虚偽の申請・報告、助成金の目的外の使用等の場合、全額を返還いただきます。
- ・助成期間終了時に残余金が生じた場合は、残余金を返還していただきます。

個人情報保護について

応募内容については、秘密を厳守し、助成の審査以外には使用いたしません。ただし、助成決定者の個人情報（氏名、所属、職名、研究題目、研究報告、財団主催行事の記録映像・写真等）は、一般公開させていただきます。

問い合わせ先

財団ホームページの「よくあるご質問」に過去のお問い合わせ内容がありますので、まずはそちらをご覧ください。

URL： <https://www.nakatani-foundation.jp/faq/index/>

お問い合わせは、財団ホームページの「お問い合わせ」よりお願いいたします。電話でのお問い合わせは受け付けていません。

URL： <https://www.nakatani-foundation.jp/inquiry/>

〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目2番2号

アートヴィレッジ大崎セントラルタワー8階

公益財団法人 中谷財団 事務局

公益財団法人 中谷財団

2027年度研究助成

【特別研究】

募集のお知らせ

研究助成 募集のお知らせ

対象研究分野

BME (Bio Medical Engineering) 分野 ～生命科学と理工学の融合境界領域～

- 医療や人々の健康に貢献しうる独創的でイノベティブなアプローチをおこなう研究を対象とします。
- BMEを補足する言葉として、「生命科学と理工学の融合境界領域」と付記しました。
生物学、医学等を生命科学とし、物理学や化学等の応用を工学としたうえで数学やAIなど情報科学も含むことを明確にする意味で工に理を加えて理工学とし、それらが連携した研究領域が対象であることを示す融合境界領域という言葉で表現しました。
- 医療の発展や健康の増進を見据えた幅広い研究分野において、基礎から応用まで広く対象とします。

2027年度研究助成 【特別研究】 募集要項

2年間で最大3,000万円 (1件)

(年間最大2,000万円の助成可)

対象研究分野 BME (Bio Medical Engineering) 分野 ～生命科学と理工学の融合境界領域～

助成対象 対象研究分野において基盤となる開発研究を一層発展させることにより、卓越した成果が期待でき、かつ、実用化が見込まれる研究成果の創出に資する研究に対して助成を行います。

研究助成期間 2027年4月から2年間

応募資格 2027年3月末日時点で、日本国内の大学およびこれに準ずる研究機関に属している者

募集期間 2026年6月1日(月)～7月7日(火)24:00までに申請完了すること

応募方法 当財団ホームページにて、以下の方法でご応募下さい。
・当財団ホームページの「マイページ」よりログインし、申請書類をダウンロードして下さい。初めての方はマイページの登録を行い、ID・パスワードを取得して下さい。
・申請書類を作成、指定書類にご捺印の上、所定のファイル形式で提出(アップロード)して下さい。

注意事項

- ・当財団が同一期間に募集する「特別研究助成」「開発研究助成」「奨励研究助成」「調査研究助成」への、「同一テーマ」での複数応募や「同一研究責任者」からの複数応募はご遠慮下さい。
- ・応募にあたっては、推薦理由記載の推薦書が必要です。(推薦者は、応募者を知る方であり、所属機関長に限定するものではありません。)
- ・1推薦者から1件に限ります。

審査方法と通知

- ・審査委員会における審査のうえ、最終決定します。
- ・書面による一次審査を行い、二次審査は一次審査を通過された方を対象に審査委員会による面接(11月7日(土)東京にて予定)を行います。
一次審査通過者には、11月初旬に面接の詳細をお知らせします。
- ・審査結果は、2027年1月上旬までに申請者本人および推薦者に郵送またはメールにてお知らせします。
※通知まで個別のご照会には回答いたしかねます。

助成金の贈呈

2027年2月27日(土)の中谷財団 助成金贈呈式
(以下「助成金贈呈式」と言う。)にて贈呈いたします。

受領者の義務

- ・助成金贈呈式にご出席いただきます。
研究概要をポスター形式で制作し助成金贈呈式当日に発表していただきます。また、冊子で当日配布、デジタルブックにて事前配布の予定です。
- ・1年目終了前(2028年3月頃予定)に初年度報告書をご提出いただきます。加えて、財団関係者が所属研究機関を訪問し、研究の進捗状況等を確認させていただきます。
- ・助成期間終了年度の助成金贈呈式(2029年2月末頃予定)にて、研究成果の発表をしていただく予定です。
- ・助成期間終了後に、研究報告書と会計報告書をご提出いただきます。
(助成期間終了後1か月内を目途)
- ・ご提出いただいた研究報告書は当財団の年報、ホームページ等を通じて一般公開させていただきます。

助成金の使途

- ・本助成金は、応募いただいた申請助成金内訳の項目でご使用下さい。
- ・所属機関へ支払う間接経費(オーバーヘッド)の使用は認めていません。
- ・旅費は、原則として年間100万円以内にして下さい。
- ・人件費は助成金全体の50%以内として下さい。ここでいう人件費は、実